

琉球大学教職大学院

2025オープンキャンパス

5月31日(土) 10:30~12:00

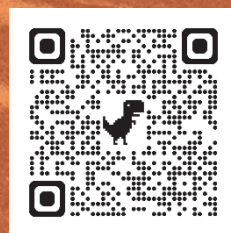


◆ 参加方法

- (1) ZOOMによるオンライン開催とします。
- (2) 参加希望者は、下記※か右QRコードで
申込むとZOOM招待メールが届きます。

※ 教職大学院ホームページ

<http://www1.edu.u-ryukyu.ac.jp/kyoshoku/>



(当日は録画を行い、以降 YouTube で公開、詳細はホームページをご覧ください。)



「深い学びを」琉球大学教職大学院で

琉球大学教職大学院では大学院生の高度な実践力の育成と個々の追究する研究課題を解決するため、講義や実習などの充実、広々とした院生室、ほっとできる談話コーナーなど恵まれた環境を用意しました。また、さまざまな授業料の優遇措置を行っています。職務研修の一環として各教育委員会等が派遣する現職院生は、1年目の授業料を2分の1に減免し、2年目の授業料は全額免除します。さらに、離島から入学する現職院生の場合は、2年間授業料を全額免除します。また、学卒院生の場合も、教員採用試験に合格、かつ正規常勤採用されることが確定した者は、最終年度の学費が免除になります。その他、沖縄県の公立学校（幼稚園を除く）に勤務する中堅教諭等資質向上研修該当者が入学すると、大幅に研修が免除されます。また、沖縄県の公立学校教員採用試験合格者は、出身大学に関係なく琉大教職大学院修了まで名簿登載期間が延長されます。このように、さまざまな特別措置を行って、皆様の学修を支援しています。

特別支援教育も学べる

令和元年度からカリキュラムを改編し、既に特別支援教育の1種免許状をお持ちの方は専修免許状を得ることが可能になりました。また院生全員に特別支援学校での実習を実施するなど、特別支援教育も充実しています。琉球大学教職大学院は、皆様の専門性を高め沖縄県の教育に貢献できるような教育内容を提供できるように努めています。詳しくはオープンキャンパスでご確認ください。

お問い合わせ

琉球大学教育学部 学務係電話 098-895-8317

Mail : infoposte@acs.u-ryukyu.ac.jp

<http://www1.edu.u-ryukyu.ac.jp/kyoshoku/>



大学院での学びは？

- ◆ 大学院の主な授業科目の一覧です。前期は必修科目、後期は選択科目を中心に学びます。
- ◆ 学習指導に関する選択科目は、この他に教科に対応した20科目が開設されています。

		科 目
必修 20 単位 (前期)		教育課程編成の課題と実践
		指導と評価の課題と実践
		教授・学習の課題と実践
		思考・判断・表現力育成の課題と実践
		生活指導・生徒指導の実践と課題
		学校不適応への実践と課題
		学級経営の実践と課題
		学校改革の実践と課題
		学校教育・教員のあり方の課題と実践
		沖縄の学校と社会
特支必修 4単位		特別支援教育特論
		特別支援教育システム論
選択 10 単位 (主に後期)	学習 指導	授業分析・リフレクションの理論と実践
		アクティブ・ラーニングの課題と実践
		授業づくりの理論と実践
		学習指導のための教材・教具の開発と活用
		活用力としての教科外活動
		授業実践力向上の基礎（主として学卒院生）
		〇〇科教育の理論と実践の高度化Ⅰ
		〇〇科教育の理論と実践の高度化Ⅱ
		授業づくりと指導法の高度化
	生徒 指導	積極的生活指導・生徒指導
		いじめ問題への対応と課題
		こども支援のための地域・保護者との協力関係づくり
		特別な支援を必要とするこどもの理解と実践
	組織 運営	新時代こども支援活動
		地域と学校の在り方
		校内研究組織の実践と課題
	学校 経営	組織的意思決定マネジメント
		教師の成長とメンタリング
		学校安全管理
	特別 支援 教育	学校マネジメント
		学校と地域との連携の実践と課題
		特別支援教育コーディネーター論
		特別支援教育の教育課程・授業特論演習
		特別支援教育・地域支援の理論と実践
		障害児理解と教育実践・発達臨床支援
		肢体不自由児の理解と支援
・課題 研究 実習	特支 以外	病弱児の理解と支援の探究
		重複障害児の理解と支援
		課題研究Ⅰ～Ⅳ（2年間）
	特支	課題発見実習（1年次）
		課題解決実習（2年次）
		課題研究Ⅰ～Ⅳ（特別支援教育）（2年間）
		課題発見実習（特別支援教育）（1年次）
		課題解決実習（特別支援教育）（2年次）